

家庭教育通信

「家庭教育通信」は子ども達のすこやかな成長を願い、よりよい家庭教育について皆で考え行動することを目指して、白井市教育委員会が情報を発信するものです。

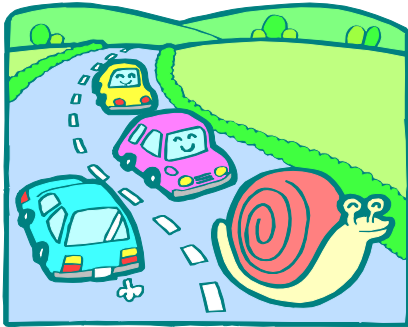
VOL.5

発行：白井市教育委員会

監修：白井市家庭教育講座講師 富澤 裕子

お問い合わせ：白井市教育委員会 教育部 生涯学習課

TEL047(492)1111



～こんなとき、どうしてますか～

テル君とママの会話が聞こえてきます。

テル君「ダイちゃんの家はいいなー。冬休みに秋田のおばあちゃんの家に行くんだって。コウちゃんは、温泉だって。どうしてウチは行かないの!？」

ママ「ママだって行きたいわよ。暮れは大掃除に餅つき。お正月は親戚が行ったり来たりで大変よ。ずっと台所にいて。ママはくたくたよ。」

年末年始を挟んだ冬休みは、伝統的な行事とそこから派生した新しいイベントが多くある3週間です。子どもにも刺激的で魅力的なお休みです。親にも楽しい面もありますが、忙しく慌しい日が続きます。

一方、親の仕事や諸事情で日常と大差の無い日々を過ごす家庭もあるでしょう。いずれの場合も子どもは「どうしてウチだけ...」と無いものねだりをして不満をぶつけてくる事があります。そんな時、どうしていらっしゃいますか？

「しょうがないでしょ！ウチはうち。よそと違うの！」と突き放しますか？「恵まれているのだから、感謝をなさい」と説得しますか？そうすると、多くの子どもは、「もういいよ！」と反抗的な態度をとったり「だって...」とグズグズ後を引いたりします。多くの行事があり心改まる年始を、家族が楽しみ人間関係を深めるいいチャンスです。そのためのコツがあります。

忙しいときは、親はイライラし、子どもは反抗的になりがちです。これは、子どもが悪い子なのではありません。人は、自分の思いや考えに耳を傾けてくれない人の意見は、聞き入れにくい傾向があるからなのです。ですから、子どもが感じている事・考えている事を、親が否定批判しないで『ふーん』『そうなんだ』と相槌を打ち、子どもの話している内容を確認しながら聞くと、心の中に溜まったストレスや不満を吐き出せて気持ちが落ち着いてきます。子どもの話しを聞くということが一つ目のコツです。



お手伝い券あげる!



～テル君とママの会話です～

テル君「ダイちゃんの家はいいなー。冬休みに秋田のおばあちゃんの家に行くんだって。コウちゃんは、温泉だって。どうしてウチは行かないの!？」

ママ「お友だちが出かけるのがうらやましいのね。」

テル君「うん。ぼくも温泉やおばあちゃんの家に行ってみたいな。」

ママ「そうか。」

テル君「ぼくは、お手伝いばかり...」

ママ「お手伝いばかりでいやだったのね。」

テル君「でも、おじちゃんやいとこの皆が来てくれるから、楽しいこともあるよ。お年玉ももらえるしね。」

ママ「お年玉が楽しみね。」

テル君「でも、ママにはお年玉が無いね。ぼくがあげようか？」

ママ「くれるの?ママに?」

テル君「ウーン。お手伝い券あげる!」

ママ「うれしいな」

その後、テル君は餅つきも大掃除も快く手伝ってくれたそうです。

このように自分で問題解決ができ、更には親の意見や気持ちにも耳を傾けられるようになり、聞いてくれる人に好意を持ちます。

つまり、信頼関係を築き一緒に楽しむことがしやすくなり、大切な価値観も継承されてやすくなるのです。

伝統行事や慣習、親戚付き合いは面倒で避けて通りたいと思いがちですが、それは一方から見た見解です。その裏には、文化の継承や親族・家族の中での位置関係を確認したり、異なる習慣に触れるすばらしいチャンスともいえるのです。このような発想の転換は、冬休みを楽しむ2つ目のコツといえるでしょう。

今いる環境や状況の中で、来年は何をしましょうか。特別なことでなくても家族が仲良く初詣や団らんでできることが、幸せといえるのではないのでしょうか。

一緒に考えてみませんか?

家庭教育の悩みや不安について相談するには、

白井市教育センター室 ☎047-492-2301

千葉県子どもと親のサポートセンター ☎0120-415-446

千葉県総合教育センター特別支援教育部 ☎043-227-1166

(障害のある・あるかもしれない子どもの養育や教育について)

養育上の悩みや非行・虐待など児童の福祉相談するには、

中央児童相談所 ☎043-253-4101

(子ども・家族110番)

白井市家庭児童相談室 ☎047-497-3477

(社福)千葉いのちの電話 ☎043-227-3900

(ひとりぼっちで悩まずに.....24時間・年中無休)

子どもの非行などを相談するには、

少年センター(千葉県警) ☎0120-783-497

県内の相談場所

